

＊ 堺教会CS新聞「いずみのひろば」は家族の人と一緒に読んで下さい。

# いずみのひろば

2017年3月号  
日本基督教団堺教会  
No.460 教会学校



## 教会のお誕生日

使徒言行録 2章40～47節



復活されたイエス様は40日間、お弟子さん達と過ごされた後、天のお父様の所へ帰られました。その時、イエス様は見守るお弟子さん達に、こう言われました。

「あなたたちは、聖霊をさずけられるでしょう。行って全世界に、福音をのべ伝えなさい。」

さて、ごじゅんさいのおまつりの日の事です。弟子たちが集まってお祈りをしていると、突然ゴーーーーっという、ものすごい音が天から聞こえてきました。そして、炎のようなものがあらわれて、ひとりひとりの頭の上にとどまりました。すると、弟子たちは体の中に不思議な力が満ちてくるのを、感じたのです。

「これが、イエス様が言っていた神様の霊に違いない」  
弟子たちは外にとび出すと、いろいろな国の言葉で語り始めました。

そばにいた人びとは、あっけにとられました。

「あの人たちは、いったい何を話しているんだろう。酔っばらっているに、ちがいない。」

そこで、ペトロは大声で話し始めました。

「私達は酔っているのではありません。神様の霊に満たされているのです。イエス様こそが、救い主なのです。」

この日ペトロの話聞いて、3千人の人が、洗礼をうけました。そして、共に祈り、最初の教会ができました。

洗礼をうけた人びとは、自分の持ち物を分け合って喜りました。パンをさいて食事をし、心を合わせて祈りました。

それを見て多くの人が仲間に加わり、神様の家族になりました。そして、世界中に広がって行きました。

神様の霊は、今も注がれています。私達も教会学校の礼拝で神様の聖霊をたくさん頂き、ひかりの子として、あゆんで行きましょう。

(お話 西崎千鶴子)

